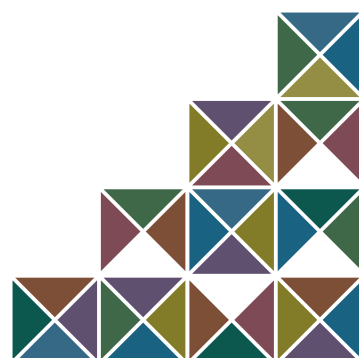


学校インターンシッププログラムのご案内
～インターンシップ生の受け入れについてのお願い～

Kansai University School Internship Program 2019



関西大学



関西大学『学校インターンシップ』のご案内

本学では高大連携事業の一つとして、大学生が教育現場で就業体験を積む「学校インターンシップ」を行っております。本学学校インターンシップ事業は、2019年度で17年目を迎えました。2005年度文部科学省「特色GP」に採択以降も、本学学生が学校現場で研修を行っております。

学校インターンシップは、大学生の職業教育という意義だけではなく、年長の若者と年少の若者とをつなぐ、若い力による高大連携事業なのだ、私たちは考えております。各地の教育委員会では、大学生の教育現場での活動をボランティアと位置づけているところが多いようです。しかし、本学では、ボランティアは学生個人の自主的な活動であるのに対して、学校インターンシップは大学教育の一環として位置づけております。その具体的な違いは、①面接・選考した上で学生を送り出していること、②内定者オリエンテーション・ビジネスマナー講座・教職キャリアデザイン講座・事後報告会などの事前、事後講座の受講を義務づけていること、③研修報告書・業務日報の提出によって単位認定を行っているということです。大学教育の一環として位置づけているため、受入学校・園での最低実働時間も設けております。

私どもの趣旨にご賛同賜り、「教職に就かれている諸先輩の方々」および「児童・生徒」との出会いを切に願っております。本学の学生を受け入れていただき、将来の教員たる資質の向上と涵養にご支援くださいますようお願い申し上げます。

関西大学 社会連携部

高大連携センター長 品川 哲彦

学校インターンシップ 2019

CONTENTS

1	プログラム概要	1
2	実施スケジュール	2
3	2018年度の実績	4
4	研修事例	5
5	受け入れに関するQ&A	8
6	参考資料(関連書類の様式)	10

学校インターンシップ

プログラム概要

目的

学生が学校・園の日常的な教育活動、課外活動などを幅広く実地体験することを通して、自己の適性を把握する機会を持ち、人間的成長や社会意識を向上させることを目指します。

研修生

本学学部生・大学院生(意欲と動機が明確で、誠実に取り組むことができる者を選考いたします)。
※原則として、学年・学部・教職希望の有無など、特定の条件は設けておりません。

受け入れ

本学では学校インターンシップを大学教育の中に位置づけて単位認定をしておりますので、①実施期間は**8月上旬～12月中旬**で設定、②研修時間は**総計36時間以上**、③学年歴による時期の制約について、下記の点にご配慮をいただきますようお願いいたします。実施期間の詳細は、受入学校・園にて個別に設定していただけます。

実施期間 **2019年8月上旬～12月中旬**

(例)短期連続型：2019年8月上旬～9月中旬の間、連続6日間など

(例)長期型：2019年9月下旬～12月中旬の間、毎週特定曜日1日など

研修時間 **総計36時間以上**

※上限は設けておりません。インターンシップ生と個別にご相談ください。

本学 学年歴 春学期試験期間：7月26日(金)～8月2日(金)

夏季休業期間：8月6日(火)～9月20日(金)

秋学期授業開始：9月21日(土)

※受入期間を設定される際、参考にしてください。

業務 (研修内容)

インターンシップ期間中の業務(学生の研修内容)については、受入学校・園で設定してください。
例：学校行事(運動会・文化祭など)の補助、授業補助、クラブ活動・図書室運営・教材作成の補助など
本プログラムをより一層充実したものにするため、複数の業務内容を組み合わせていただくなど、ご配慮をいただければ幸いです。

費用

インターンシップ期間中の労働への対価は必要ありません。交通費につきましては、本人が負担(一部本学で補助)いたします。

守秘

インターンシップ期間中に知り得た学校および関連機関などの機密事項と在校生の個人情報の取り扱いについては、インターンシップ生から守秘義務に関する「誓約書」(P.11参照)を提出させます。

事故補償

本学の責任によりインターンシップ生を学研災付帯賠償責任保険に加入させ、これを適用します。

▶対人賠償と対物賠償あわせて **1事故につき1億円限度**

事前と事後 の指導

インターンシップ生には、事前講座でマナーや学校現場での心構えに関する受講を義務づけております。また、インターンシップの成果を振り返るための事後報告会を実施しております。

学校インターンシップ

実施スケジュール

※各行事の開催日時は変更することがあります。

3月

学校・園(教育委員会)

Webエントリーを開始(本パンフレット到着時から)します。
Webエントリーシステムへアクセスいただくには、ID・パスワードが必要ですのでP.3をご参照のうえ、申請してください。

4月

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校・園向け募集説明会 4月10日(水)16:30~17:40

受け入れをご検討いただいている学校・園、教育委員会の先生方を対象とした説明会を開催します。説明会に参加を希望される場合はP.13の申込書をFAXにてお送りください。

学校・園(教育委員会) 大学

Webエントリーシステム利用ID・パスワード申請締切 4月18日(木)

学校・園(教育委員会) 大学

Webエントリー締切 4月20日(土)

受入期間や研修内容を決定のうえ、期日までにWebエントリーシステムにご登録ください。

5月
~
6月

学 生

募集説明会 5月8日(水)~5月14日(火)

学校インターンシップを希望する学生に、募集説明を行います。

学生申込み締切 5月22日(水)

大 学 学 生

派遣学生の選考・内定 5月22日(水)~6月2日(日)

本学学校インターンシップ担当教員が申込者の書類審査・面接を行い、派遣学生を内定します。

学校・園(教育委員会) 大学

受入学校へ内定者を通知 6月6日(木)頃

派遣内定学生の氏名、志望動機などを記載した「個人票」を郵送し、希望している研修内容や期間をお知らせします(P.10参照)。内定した学生が、事前講座②のビジネスマナー講座を受講後、6月27日(木)から1週間以内に受入学校・園へ電話連絡をし、訪問(面談)のアポイントを取ります。学生からの連絡がありましたら、受入可否を決定いただくための「面談」をお願いします。

学校・園(教育委員会) 大学

派遣に関する覚書の締結

本学と受入学校・園との間で、学生派遣に関する「覚書」(P.10④参照)を締結します。その後、インターンシップ生の守秘義務についての「誓約書」(P.11⑤⑥参照)を本学から受入学校・園へ郵送します。

5月～6月

学 生

事前講座①

内定者オリエンテーション 6月12日(水)

学 生

事前講座②

ビジネスマナー講座 6月26日(水)

研修現場でのインターンシップの意義、心構え、必要なマナーなど事前指導を徹底します。

7月

学 生

事前講座③

教職キャリアデザイン講座 7月3日(水)

インターンシップ生受入経験のある学校の先生による講演や、学生によるグループワークを行います。

8月～12月

学校・園(教育委員会) 大 学 学 生

学校インターンシップ実施

実施期間 8月上旬～12月中旬

※インターンシップ生には、「業務日報」と「研修報告書」の提出を義務づけております。講評欄へのアドバイス・意見の記入をお願いします。

※学校・園での総研修時間が36時間以上となるよう実施してください。

学校・園(教育委員会) 大 学 学 生

事後報告会

9月20日(金) 16:20～17:50 (原則として9月20日までに研修を終了した学生対象)

12月18日(水) 16:20～17:50 (上記以外の学生対象)

インターンシップ生の代表者による研修に関する報告の他、研修の総括としてグループ討論を予定しています。ぜひ受入学校・園の先生方もアドバイザーとしてご協力ください。

全研修終了後

大 学

学校インターンシップ研修に関する単位認定

学校インターンシップ

受入申込みについて

本学の学校インターンシップはWebエントリーシステムを利用して、申込みいただいております。

◆Webエントリーシステム利用ID・パスワードの申請方法

本学学校インターンシップ専用HP (<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/>) の『受入学校・園のお申込み』のページにある「学校インターンシップWebエントリーシステム利用ID・パスワード申請申込みフォーム」に必要事項をご入力いただくかP.12にある申請書に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込みください。

お申込み後、一週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センターまでご連絡ください。

受入申込学校・園の校種別の数値

	受入申込校数【実】	派遣校数【実】	受入可能人数	派遣人数
高等学校	39	24	161	40
中学校	37	11	114	11
小学校	70	9	246	14
幼稚園	10	1	35	1
合計	156	45	556	66

派遣学生の学部・年次別の内訳

学部	派遣人数
法学部	2
文学部	32
経済学部	2
商学部	3
社会学部	6
政策創造学部	0
外国語学部	3
人間健康学部	3
総合情報学部	0
社会安全学部	2
システム理工学部	7
環境都市工学部	3
化学生命工学部	2
大学院	1
合計(派遣人数)	66

年次	派遣人数
1年次	23
2年次	8
3年次	32
4年次	2
大学院生	1
合計(派遣人数)	66

派遣先学校・園一覧

大阪府立旭高等学校	堺市立堺高等学校	堺市立金岡北中学校
大阪府立市岡高等学校	兵庫県立尼崎高等学校	堺市立浜寺南中学校
大阪府立狭山高等学校	兵庫県立猪名川高等学校	堺市立陵西中学校
大阪府立桜塚高等学校	兵庫県立西宮香風高等学校	京都市立小栗栖中学校
大阪府立吹田高等学校	関西大学高等部	長岡京市立長岡中学校
大阪府立泉陽高等学校	関西大学第一高等学校	池田市立神田小学校
大阪府立高槻北高等学校	関西大学北陽高等学校・中学校	吹田市立江坂大池小学校
大阪府立刀根山高等学校	興國高等学校	吹田市立岸部第二小学校
大阪府立登美丘高等学校	羽衣学園高等学校	吹田市立高野台小学校
大阪府立山田高等学校	吹田市立第二中学校	吹田市立桃山台小学校
大阪府立東淀川高等学校	吹田市立高野台中学校	豊中市立大池小学校
大阪府立みどり清朋高等学校	吹田市立西山田中学校	八尾市立長池小学校
大阪市立大阪ビジネスフロンティア高等学校	吹田市立南千里中学校	寝屋川市立石津小学校
大阪市立高等学校	豊中市立第一中学校	守口市立藤田小学校
大阪市立南高等学校	八尾市立亀井中学校	吹田市立認定こども園 吹田第一幼稚園

2018年度研修事例を紹介いたします。なお、「インターンシップ生の声」は学生が提出した「研修報告書」の内容から抜粋しています(学年は研修時のものです)。

短期連続型

事例① 幼稚園

期間 8月29日～9月10日の間、5日間(総研修時間45時間)

研修内容 保育の手伝い・補助・準備、運動会の練習の手伝い・補助、準備や片付け

インターンシップ生の声 **経済学部** **3年次生**

5日間という短い期間でしたが幼稚園で研修をさせていただきました。最初の3日間は夏休み中のプール登園日でした。プールに入る前の準備運動は子ども達を楽しめるダンスになっていました。水に顔をつけるようにするという目標でフライングを使用したり、対戦形式でパタ足の練習をしたり、色々な方法で行われていました。どの活動も園児の興味を惹くような内容であったので、工夫して楽しく水泳学習が行われていると思いました。4日目の登園の際に、園児が保護者の方となかなか離れられないということがありました。私はどのように声をかければいいのか分かりませんでした。先生はその際、優しく話しかけ、その子が好きなことの話や、今日こまで来られたことをほめて、もう少しがんばろうと励ましていました。子どもをただほめるだけでなく、その子のやる気を引き出しあげることが大切である実感しました。今後は子ども達と関わる際、そのようなことを意識して工夫できるよう関わりたいと思います。

事例② 小学校

期間 9月11日～9月15日の間、5日間(総研修時間38時間)

研修内容 授業補助、学校行事の補助、クラブ・委員会活動の補助、教材作成 等

インターンシップ生の声 **文学部** **2年次生**

学校インターンシップに参加することを決めた時に児童たちと積極的にコミュニケーションをとるという目標は達成できたと思います。授業中に集中力がないう児童や準備ができていない児童に対して、名前を呼んで促してあげることや行動してくれたり、休み時間には「先生あそぼう」と声をかけてくれたりと距離が縮まっていることを実感できました。その一方で、注意をしなくてはいけない時に曖昧にしてしまい上手くできず、自分1人で対処することができませんでした。指導いただいていた先生は注意する時にメリハリをつけて児童たちと接していました。私も見習ってメリハリをつけて行動していかなければならないと思いました。そのためにも常に周りを見て何が起きているのか、何をしなければいけないのかを考えて行動していきたいです。また、朝から放課後まで先生たちは休む暇もなく、授業や会議、行事の準備や保護者への対応などをこなす体力も必要であることがよく分かりました。教員をめざして普段から運動をし、周りを見て行動することや一つ一つのことに目的をもって行動することを意識してこれからの大学生活を過ごしていきたいです。

長期型

事例③ 中学校

期間 9月4日～11月21日の間、週1日程度(総研修時間63時間)

研修内容 授業補助

インターンシップ生の声 **人間健康学部** **3年次生**

研修では、主に授業に参加させていただき、授業の様子を見学しました。先生ごとに授業の組み立て方や発問の方法、生徒を授業に引き込む方法などにおいて、様々な工夫が見られ、非常に勉強になりました。板書や声の大きさなどの細かい点も含めて、今回の研修を通して学びました。学んだことは、学校の教職課程の授業や来年の教育実習で活かしていきたいです。休み時間には、生徒と少しコミュニケーションをとりました。自分の話をしてくれたり、私に興味をもって色々質問してくれたり、生徒によって話の内容は異なりましたが、様々な生徒と交流できて良かったです。しかし、話しかけてきてくれる生徒とばかり話して、自分からあまり多くの生徒に声をかけることができなかったのは反省点です。他の反省点としては、授業見学中に授業についていけない生徒を見つけ、声をかけることがあまりできなかったということがあげられます。総じて積極性がまだまだ足りなかったなと感じます。自分からもっと出来ることを見つけて、動いていければ良かったと思います。この点は、これからしっかり改善していきたいです。今回の研修で学んだこと、気づいたことを、これからの生活に活かしていきたいです。

事例④ 高等学校

期間 8月30日～11月12日の間、週1日程度(総研修時間約40時間)

研修内容 授業見学、文化祭・中学生向け学校見学会の補助

インターンシップ生の声 **社会学部** **4年次生**

研修は、授業見学や行事の補助を行いました。授業見学では授業の組み立て方や授業の目的や生徒の学びに焦点を置き、見学をしました。行事は、主に文化祭や学校説明会の準備と運営を生徒と共にしました。全体的な反省点は、あまり自発的に行動できなかった点です。例えば生徒に話しかける頻度を増やしたり、生徒だけでなく先生方にもたくさんのお話を聞く機会を作り出したりしたかったです。積極性というものは、自分で感じるものではなく他者が感じて初めて認められるものだと考えています。そのため、私自身が頑張って行動していると思っても、他者に伝わってなければ、それは意味のないものになってしまいます。これは私の課題だと思っています。今回のインターンシップを通して、今後の課題を認識できたため、これから日常生活も意識して生活していきたいと考えています。また、今描いている教師像をより具体的にすることが出来ました。教師という仕事のやりがいや苦労する場面を知ったうえで、より教職に対する想いが増しました。この想いを持続させ、私自身の原動力にし続けたいです。そして、今回のインターンシップで得たことをこれで終わりにせず、自信にして、活かしていきたいと強く思います。

研修期間中の業務内容を紹介

インターンシップ生は、自身が研修・体験した業務内容を1日ごとに「業務日報」に記録します。
そして、その日学んだことや反省したことの振り返りを行います。
その業務日報をもとに、どのような振り返りを行っているのか紹介します。

- 研修期間：9月5日～9月18日 [短期連続型研修]
- 研修先：中学校
- 研修内容：授業見学・補助、部活動指導補助

9月5日 研修1日目

8:00	登校
8:20～	先生方へ挨拶・自己紹介
8:30～	全校放送による生徒への挨拶
8:45～	校内案内・打合せ
9:45～	授業見学 (1年社会)
10:45～	授業見学 (1年理科)
11:45～	授業見学 (1年国語)
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学 (1年英語)
14:20～	授業見学 (1年英語)
15:15～15:40	掃除、SHR
16:00	下校

初日に先生方と生徒へ自己紹介させていただいたので、その後のコミュニケーションが取りやすくなりました。

校舎内の配置や教室の場所などが分かったのと、案内していただき、とてもありがたかったです。

今日、学んだことや所感

1日目ということで緊張のあまり先生方について行くだけで、逆に邪魔になってしまったのではないかと心配しています。先生方は親切で、生徒たちは皆明るく、すれ違えばあいさつしてくれる生徒ばかりで安心しました。今日は実際に何かをするということではなく、校内を案内していただいたり、生徒の様子を見ることで終わったので、次回はもっと積極的に行動できればよいと思いました。

今日、学んだことや所感

今日から校門で学校に来る生徒たちにあいさつすることになりました。みんながあいさつを返してくれるのが嬉しかったです。これをきっかけに私の顔を生徒たちに覚えてもらいたいと思いました。昼休みには、クラスに入っ一緒に昼食をとり、生徒との距離を縮めることができました。今日から部活動に参加させていただきました。久しぶりに体を動かすので、緊張しましたがしっかりと技術指導補助ができてよかったです。

様々な授業の見学ができて、指導方法など、とても参考になりました。

部活動に参加することによって、担当クラス以外の生徒と交流することができました。

9月6日 研修2日目

8:00	登校
8:15～	校門であいさつ運動
	先生方へ挨拶・職員会議
8:45～	授業見学 (1年英語)
9:45～	授業見学 (1年理科)
10:45～	授業見学 (1年英語)
11:45～	授業見学 (1年国語)
12:35～	昼休み
13:20～	授業見学 (1年国語)
14:20～	授業見学 (1年社会)
15:15～15:40	掃除、SHR
16:00～	バレー部指導補助
18:15	下校

9月12日 研修6日目

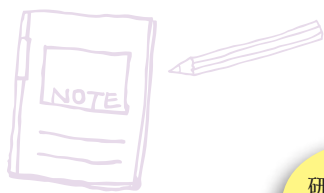
8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業見学 (1年英語)
9:45~	授業の準備 (プリント印刷)
10:45~	授業見学 (2年英語)
11:45~	授業の準備 (プリント印刷)
12:35~	昼休み
13:20~	授業見学 (1年英語)
14:20~	授業見学 (2年英語)
15:15~15:40	掃除、SHR
16:00~	バレエ部指導補助
18:15	下校

授業をする以外にも、先生方には膨大な事務作業があることを知りました。

英語の先生を目指しているので、同じ科目で異なる学年やクラスの授業見学はとても参考になりました。

今日、学んだことや所感

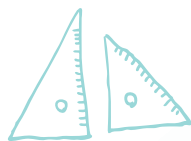
今日は4人の英語の先生の授業を見学させていただきました。先生によって進め方や指導方法が違っていき、勉強になりました。授業で工夫している点などは、教育実習で実践してみたいと感じました。また、授業の準備としてプリント印刷もさせていただいたのですが、普段、授業をしながらこのような準備もされていることに気づき、改めて先生の大変さを実感することができました。



今日、学んだことや所感

英語の問題で悩んでいた生徒に声をかける時に、どこまでがヒントや説明で、どこからが答えになるのか迷いました。理解できない箇所もそれぞれだし、理解の深さもそれぞれなので、どの程度まで手助けをしていいのかわかりません。今日は、放課後学習に参加しました。英語と数学に取り組みましたが、伝え方、学習の進め方ももっと工夫して、楽しく、集中力を長く保てるようにしようと思いました。今日は考えることや、次回への課題が多い1日でした。

研修の後半からは、授業補助をさせていただくようになりました。教えることの難しさを改めて実感しました。



9月14日 研修8日目

8:00	登校
8:15~	校門であいさつ運動 先生方へ挨拶・職員会議
8:45~	授業補助 (1年英語)
9:45~	授業補助 (1年英語)
10:45~	授業補助 (2年英語)
11:45~	授業補助 (2年英語)
12:35~	昼休み
13:20~	授業で回収したプリントの丸つけ HRで配布するプリントの作成
15:15~15:40	掃除、SHR
16:00~	放課後学習指導
18:15	下校

上記のように、インターンシップ生について、学校全体が理解してくださるよう、事前にインターンシップ生が来ることをご周知いただいたり、先生方や生徒の前で挨拶する機会を設けていただければ、学生たちは活動しやすくなります。また、研修内容が同一でも、異なるクラスや学年を担当することは、とても参考になるようです。

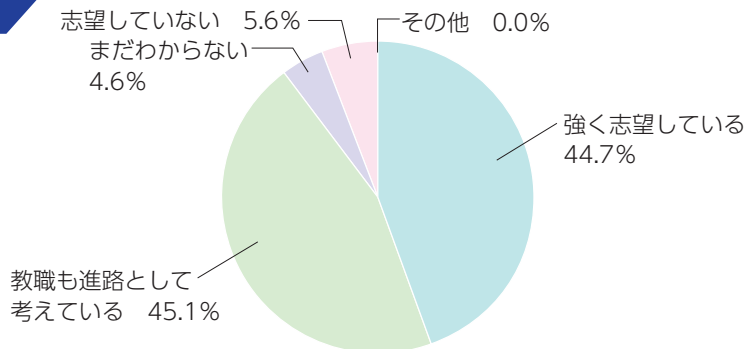
インターンシップ生は、教員の業務のごく一部しか知らないことが多いため、授業補助の他に、担任業務や進路指導業務、図書室業務、資料整理など、教員の多岐にわたる業務を経験することは、とても良い経験になります。学校とインターンシップ生の要望が合致すれば、予定されていた研修以外の内容を組み込んでいただいても結構です。

双方にとって、実りのある機会にいただければ幸いです。

Q 学校インターンシップを希望する学生はどのようなタイプの学生が多いのですか？

A 教職を希望する学生が大半です(グラフ1)。本学は、1年次生から学校インターンシップに派遣しています。中には、自分は教員として適性があるのかと進路に迷っている学生もいます。学校インターンシップを体験して教職志望をしっかりと固めたという学生も多くいます。受入学校・園の先生方には、教員の仕事のさまざまな面を学生にご指導いただければ幸いです。教職以外の進路を考えている学生もいますが同様にご指導いただきたく存じます。

【グラフ1】 教職志望について



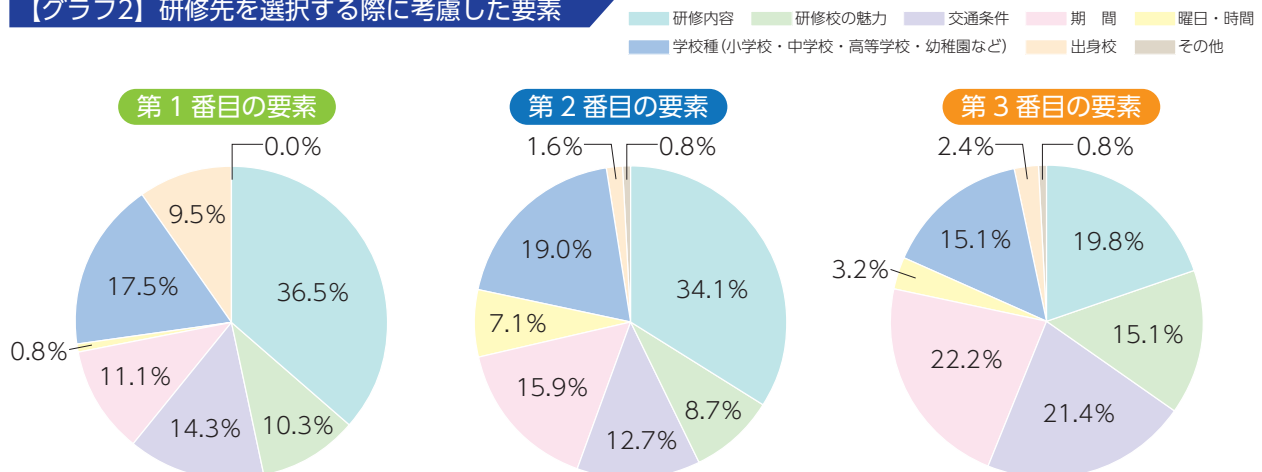
Q 受入学校・園と学生のマッチング作業は大学がするというのですが、受け入れる学生について、受入学校・園から要望を出すことはできますか？

A 受入申込み時に学校・園それぞれの方針にそって、受け入れたい学生について、「教職志望者」「学年」「学部」などの条件を入力できる欄を設けております。研修内容に応じて学部・学年を限定する必要や部活動経験など、その他の条件がございましたらご入力ください。ただし、条件によって対象学生も限られますので、その点はあらかじめご了承ください。

Q 学生はどのようにして研修先の学校・園を選ぶのでしょうか？

A グラフ2のとおり、学生が最も重視するのは研修内容(活動内容)です。事前指導で、学生には「学校現場を知ることが目的なので、さまざまな仕事を体験させてもらいなさい」と伝えております。研修内容については、複数の内容を組み合わせていただいても結構です。Webエントリーシステム「研修情報」欄には、詳細な研修内容をご入力くださいますようお願いいたします。

【グラフ2】 研修先を選択する際に考慮した要素



研修先を決定する第2、第3番目の要素としては、研修内容のほかに交通条件や研修期間を重視していることがわかります。本学の授業の関係上、インターンシップ生の半数以上は、短期連続型での研修を希望します。しかし、教職志望が固まり、児童・生徒と長く接したいという学生も増えてきます。

長期型の場合は、学業との両立が前提のため、曜日・時間は募集段階で確実に決定いただくようお願いします（選択可能な複数の曜日・時間がある場合は、できる限り備考欄にその旨を明記願います）。これまでに派遣内定後の受入学校・園との面談で、研修日程（具体的な曜日・時間など）を伺い、学生のスケジュールとの調整が十分に行えず、スムーズに研修を行うことができなかつたケースがありました。

Q 学生を受け入れる際に留意すべき点がありますか？

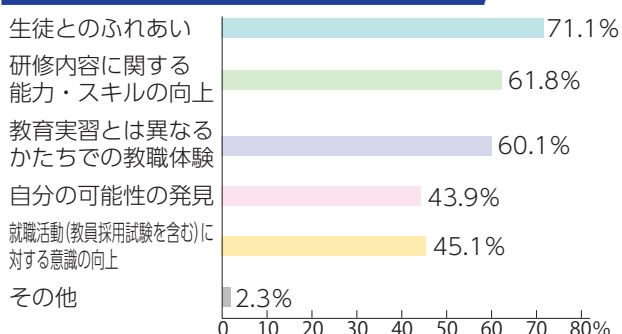
A 「受入担当者」をお決めください。学生には受入申込み時の情報をそのまま開示します。学生は、派遣内定後、研修前に受入学校・園を訪問し、受け入れ担当の先生方に面談していただきます。

また、全研修終了後、学生はP11の「研修報告書」を大学に提出します。その際、誠にお手数ですが、「研修報告書」に講評のご記入をお願いします。

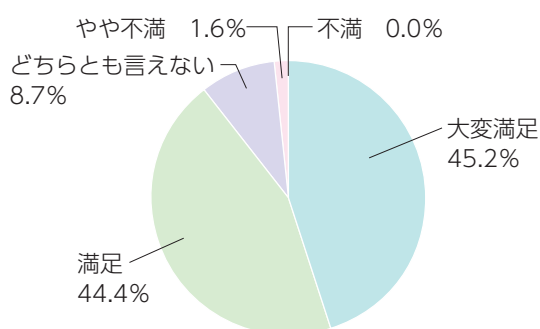
Q 学生が学校インターンシップに参加する動機は何でしょうか？

A 教育現場での就業体験が本プログラムの趣旨ですが、学生が最も期待していることは、児童・生徒とのふれあいです（グラフ3）。そして、一番悩むのも児童・生徒とのふれあい方ようです。創意工夫を重ねほとんどの学生が学校インターンシップに手ごたえを感じて研修を終えています（グラフ4）。

【グラフ3】
学校インターンシップに期待していること
(複数回答)



【グラフ4】
あなたは、今回の学校インターンシップ研修に満足していますか？



Q 最も気をつけねばならないトラブルには、どのようなものが考えられますか？

A 「学校・園には個人情報が多く存在しています。本学では、事前講座での指導のほか、学生から受入学校・園と大学にP11の「誓約書」を提出させ、受入学校・園と大学との間でP10の「覚書」をとりかわしています。トラブル回避のため、児童・生徒の成績等の個人情報を含むファイルが入っているパソコンは利用させない、あるいは、ファイルへのアクセス権を設定する等のご配慮をいただければ、双方にとっても安心して研修を進められると思います。

事前講座では、学生に対して、児童・生徒の学習レベル、容姿、身体、服装、学校の環境についての発言、気軽に言っただけの一言や親しみをこめたつもり一言が相手を傷つける場合もあることも指導しています。また、学生と特定の児童・生徒が親しくなり、携帯番号やメールアドレスを教えあうというようなことのないよう指導しております。受入学校・園でも、ご指導をお願いします。

Q 学校インターンシップ終了後に、引き続き学生に来てもらうことはできますか？

A 受入学校・園と当該学生との間で合意があれば、インターンシップ終了後も、研修外のボランティアとして学校・園のお手伝いをさせていただくことに支障はありません。ただし、学生には、大学にその旨を必ず報告するようにご指導ください。本学では、学生の活動を把握する趣旨から、学校インターンシップ後の学校ボランティアについても、原則として学生からの報告を求めています。

大学から受入学校・園への送付書類について

① 内定通知

2019年6月0日

学校インターンシップ生受入ご担当者様

関西大学 社会連携部
高大連携センター長
品川 智彦

学校インターンシップ生の内定について (ご通知)

この度は、本学の「学校インターンシップ」プログラムにご協力をお願いし、誠にありがとうございます。

さて、今年度の「学校インターンシップ」につきまして、申込書類と面接により慎重に選考を行った結果、別紙の学生を貴校に派遣することに内定いたしました。

つきましては、貴校にて面接の上、当該学生の受入の可否をご決定いただきますようお願いいたします。当該学生には、学校インターンシップ生受入ご担当の先生宛に**8月21日(金)迄に入学金(10万円)**を**前払(上払は後払い)に書類送付**をするよう指示しておりますので、当該の日時をご確認ください。面接は、受入可否をご判断いただくことも含んでおりますため、7月中旬に設定していただければ幸甚に存じます。

面接にて受入可否をご判断いただきました場合は、引き続き研修内容や曜日・時間などの細部を学生本人と打合わせお願いいたします。学生に対しては、貴校の規則、教育方針をよく知り、研修中の服装等を各府県等を指示するよう指示しております。ご多忙のところ恐れ入りますが、よろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

【別紙詳細】
① 派遣学生氏名と研修期間、研修内容 (別表)
② 派遣学生個人票
※個人の連絡先等を記載しておりますので、取り扱いのご配慮をお願いいたします。
③ 学生派遣に関する覚書 2通
④ 覚書送付封筒 1通

学生派遣に関する「覚書」について

本学所定の「覚書」(※2通)に添付しております。内容を精査いただき、ご変更がなければ「ご署名・ご捺印」の上**1通は覚書で覚書、もう1通は別紙の状態で返送ください。**
なお、別紙書類(※1) (別表)に記載しております研修期間等の内容に変更がある場合のみ該別紙を二重線のうしろ書きにて修正いただき、そのコピー(1部)を覚書とあわせてご返送ください。また、学生の守秘義務に関する「誓約書」は、本学から後日お届けする予定です。

【覚書の返送およびお問い合わせ先】
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
関西大学 社会連携部 高大連携センター
TEL: 06-6388-1184 FAX: 06-6388-0858
E-mail: koudai@im.kandai.jp

学生の派遣を内定後、内定通知および学生受け入れに関する書類(①②③④)を郵送します(大学内での内定ですので、後日、学校・園で別途面談(打合せ)をしていただいた上で、受け入れの可否をご決定ください)。

② 別表

派遣内定学生の氏名と特に希望する研修内容を記載しております。

<別表>

〇〇市立〇〇小学校 御中

以下の学生を本学学校インターンシップ生として内定いたしましたので、下記の表のとおり、お知らせいたします。
なお、研修期間および内容につきましては、受入申込書にご記入いただきましたものに従っておりますが、個別に学生との相談で最終決定していただければ幸いです。

研修期間	研修内容	派遣内定学生	特に希望する事項
(長期型) 8月上旬～12月中旬 週1日程度	・ 児童の学習活動への個別サポート。 ・ 休み時間等での児童とのふれあい。 ・ 学習活動への準備の補助。	文学部 2年 関大 太郎	児童の学習活動への個別サポート

③ 個人票

2019年度 学校インターンシップ申込書 (個人票)

フリガナ	学部	学号	学籍番号	学年	年
氏名	姓()	名()	生年月日 ()年()月()日	専属貼付	
現住所	〒()	番()	号()	〒()	番()
電話番号	()	()	出身高校		
携帯番号	()	()	クラブ/サークル	大学	()
E-mail	()	()	高校	()	()
性別	男	女	専属	()	()
所属					
所属					
学校インターンシップ開始の希望					
海外経験	国名: ()	期間: ()年()月～()年()月()ヶ月			
自己PR					
① 学校インターンシップを希望した理由 ② 自分が見たいと思うこと ③ 自分ができそうだと思うことについて、できる限り詳しく書いて下さい。					
※申込書(個人票)の記入内容につきましては、学校インターンシップに関する職員は内での使用はしません。 裏に続く					

個人票にて、学生の基本情報をお知らせいたします。

④ 覚書

関西大学 学校インターンシップ実習生派遣に関する覚書

〇〇学校(以下「甲」という)と関西大学(以下「乙」という)は、甲が乙の派遣する学生を、学校インターンシッププログラムによる実習生(以下「実習生」という)として受け入れることに關し、次のとおり覚書を締結する。

(実習生の派遣及び受け入れ)
第1条 乙は、実習の実施にあたり、別表の学生を実習生として甲に派遣し、甲はこれを受け入れるものとする。
(実習生の受け入れ条件等)
第2条 実習生の受け入れ条件等は別表に定める。
(実習生の服装及び守秘義務)
第3条 乙は、実習生に対し、実習期間中、甲の就業規則をはじめ甲の職員に適用される規則、規約を遵守させること、並びに実習期間中に知り得た甲及び甲の在校生、関係機関等の機密事項を実習期間中、守秘せざることを実習終了後も他に漏洩させないことを目的として、事前講座の実施及び誓約書の提出を行わせるものとする。
(実習内容)
第4条 実習の内容については、乙は甲に一任するものとする。ただし、甲は、実習生に対し、実習開始時に実習内容について説明し、以降の実習においては適宜指導を行うものとする。
(実習の費用)
第5条 甲は、実習期間における実習生の交通費、食費、その他実習に関連する費用を実習生に支払わない。ただし、甲に支払うべき特約の事情がある場合は、この限りではない。
(個人情報の取扱い)
第6条 甲は、実習の実施にあたり、知り得た実習生の個人情報(他の情報と容易に照合することができ、それにより実習生を識別することができる情報を含む)について、実習の実施に準ずる以外の目的に使用してはならない。
第7条 甲は、実習終了後、知り得た実習生の個人情報等を甲の責任において速やかに廃棄しなければならない。
(賠償請求)
第8条 乙は、実習期間中に発生した事故による実習生の損害について、その原因が甲に起因していることが明らかである場合を除き、原則として甲に賠償の責任を求めない。
(実習中の事故等の補償)
第9条 実習生は「学生教育研究災害補償保険」(以下、「学生保険等」という)に加入するものとする。
第10条 実習中の事故等により実習生が被害を負った場合は、学生の加入する学生保険等により補償する。事故の判明等に関する必要書類は、乙が行うものとする。
第11条 実習生が甲又は第三者に損害を与えた場合は、法令に反して賠償するとともに、必要な補償は実習生が加入する学生保険等により補償する。
(有効期間)
第12条 この覚書の有効期間は覚書締結の日から実習期間満了の日までとする。
(その他)
第13条 この覚書の解釈に疑義が生じた場合、又はこの覚書に記載のない事項については、甲乙協議の上決定する。
この覚書の締結するため、本書2通を作成し、甲乙記名押印の上、各自1通を保有するものとする。

2019年 月 日

甲

乙 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号
関西大学 社会連携部 高大連携センター長
品川 智彦

学生の受け入れが決定しましたら、受入学校・園と本学の間でインターンシップ生派遣に関する「覚書」を取り交わします。2通送付しますので、1通を本学までご返送ください。

本書は高大連携センターの HP からダウンロードすることも可能です。

学校インターンシップ Web エントリーシステム 利用 ID・パスワード申請書 FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。ご送信の際はこの用紙だけお送り下さい。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

【2019年度 学校インターンシップ生受入申込みについて】

学校インターンシップ生を本学から受け入れていただける場合は、学校インターンシップ Webエントリー利用のための ID・パスワードをお送りいたしますので、以下に必要事項をご記入のうえ FAXにて送信ください。

学校・園名 教育委員会名	
ご担当者名	
ご住所	〒 電 話 :
ID・パスワード 通知方法 ※1	<input type="checkbox"/> F A X :
	<input type="checkbox"/> メール :

※1) ID・パスワード通知方法のいずれかを選択し、必要事項をご記入ください。

選択いただいた方法にて ID・パスワードのご連絡をさせていただきます。

申込み後、一週間以内に通知が届かない場合は、高大連携センター(06-6368-1184)までご連絡ください。

4月18日(木)までにご送信願います。



F A X 送信方向



切り取り線

本書は高大連携センターの HP からダウンロードすることも可能です。

2019 年度 受入学校・園向け募集説明会申込書 FAX送信用紙

(送信票は必要ございません。ご送信の際はこの用紙だけお送り下さい。)

関西大学高大連携センター 行

FAX 06-6368-0858

【受入学校・園向け募集説明会について】

4月10日(水)16:30からの「受入学校・園向け募集説明会」に出席いたします。

学校・園名 教育委員会名	
所属・役職	
ご出席者	(計 名)

4月6日(土)までにご送信願います。



F A X 送信方向





お問い合わせ先

関西大学 社会連携部 高大連携センター

〒564-8680 大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

TEL. **06-6368-1184** (直通)

FAX. **06-6368-0858**

E-mail : koudai@ml.kandai.jp

関西大学 学校インターンシップ

検索



<http://www.kansai-u.ac.jp/koudai/gakuinte/>